

ご好評いただきました第1回公開講座2026(6/20開催)を

オンデマンドにて配信いたします

配信期間 2026.10.1～11.30

視聴
無料

講座 1A

「レイトトーカー」って なんだろう？

ーことばの「遅れ」とことばの「障がい」ー
お子さんの「ことばの遅れ」と
「ことばの障がい」の違いを理解
するとともに、言語発達を促進す
る対応について学びませんか？

講師：遠藤 俊介

リハビリテーション学部 言語聴覚学科 准教授

講座 1B

乳がん検診のすすめ

乳がん検査の受診率向上を目的に、
診療放射線技師の視点から、乳が
んとその検査方法についてわかり
やすくお話しします。

講師：櫻井 典子

医療技術学部 放射線学科 講師

講座 2A

多文化社会における 多様性と共生

ーアメリカの経験から学ぶ共生社会のヒント
アメリカ型多文化主義の歩みをひ
も解き、多様性を社会構造の問題
と捉え直し、誰もが生きやすい共
生社会のあり方についておしま
す。

講師：徳永 慎也

教養部 准教授

講座 2B

ケアの安全とは

医療・福祉のケア現場では「ヒヤリ
・ハット」や事故の完全な防止は容
易ではありません。現状を整理し、
組織全体で支える「安全管理」の考
え方についてお話しします。

講師：堀込 由紀

看護学部 看護学科 准教授

講座 3A

なぜあなたは「それ」を 選んだのか

動物やヒトにおける取捨選択・意
思決定の主要な要素について知っ
てみませんか？
脳の働きを基にお話しします。

講師：洞口 貴弘

リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授

講座 3B

多様化する末梢動脈疾患管理・ 治療法の最前線

～足を守って人生を守る～

下肢閉塞性動脈疾患に対し、レー
ザー血流計による早期発見と、近
年注目されているフィラピー療法
の効果に着目し、透析患者の足病
変予防への応用の可能性について
お話しします。

講師：齋藤 慎

医療技術学部 臨床工学科 准教授

講座 4A

人と会っているのに、なぜ 孤独を感じるのか？

～自分らしい人とのつながり方と心の健康～

孤立と孤独の違いを学び、健康と
の関わりや、自分にとっての時間
や意味のある作業について、考え
てみませんか？

講師：松寄 由莉

リハビリテーション学部 作業療法学科 講師

講座 4B

ノーベル賞で話題の 制御性T細胞って何？

ノーベル賞で話題の制御性T細胞に
ついて、理解してみませんか？
高校生から大人まで、わかりやす
くお話しします。

講師：高橋 克典

医療技術学部 検査技術学科 教授

【申込方法】

右のお申し込みフォームより必要事項を入力の上、送信
してください。入力いただいたメールアドレス宛てにご視
聴に必要なURLをお送りいたします。

※ご視聴にはインターネットに接続できる環境が必要です。

▼お申し込み ▼各講座詳細



2026年度第2回公開講座お申し込み受付中

開催日 お申し込み▶

10/25 日



2026年度 群馬パース大学 第1回公開講座 各講座の詳細（ぐんま県民カレッジ連携講座）

開催日:2026年6月20日(土)

講演1A 【言語聴覚学科】

講 座	「レイトローカー」ってなんだろう？ ―ことばの「遅れ」とことばの「障がい」―		演者のプロフィール
演 者	遠藤 俊介(リハビリテーション学部 言語聴覚学科 准教授)		 スマートフォン等から開く 場合は2次元コードをタップ！
目 的	お子さんの「ことばの遅れ」と「ことばの障がい」の違いを理解するとともに、言語発達を促進する対応について学びましょう。		
概 要	「ことばの遅れ」と「ことばの障がい」が何が違うのでしょうか。お子さんのことばの発達がおそい時、「様子を見ましょう」という対応は適切なのでしょうか。 近年耳にようになった「レイトローカー」という用語と関連して概説します。 保健・保育・療育関連の先生方はもちろん、保護者の方にもわかりやすくご説明します。		

講演2A 【教養部】

講 座	多文化社会における多様性と共生 ―アメリカの経験から学ぶ共生社会のヒント	演者のプロフィール
演 者	徳永 慎也(教養部 准教授)	 スマートフォン等から開く 場合は2次元コードをタップ！
目 的	アメリカ型多文化主義の歩みを紐解き、多様性を社会構造の問題として捉え直し、誰もが生きやすい共生社会のあり方を学びましょう。	
概 要	「多様性」という言葉が広まる一方、単に「違いを認め合う」だけでは真の共生は実現しません。私たちの社会には、無意識のうちに「多数派」を基準とした見えない壁や特権が存在します。本講座では、アメリカの多文化主義の歩みをヒントに、人種、性・ジェンダー、障害、年齢など様々な違いに潜む構造的なハードルに目を向けます。個別の困難に寄り添い、お互いの弱さを支え合う、これからの社会に必要な実践の視点を共に考えましょう。	

講演3A 【理学療法学科】

講 座	なぜあなたは「それ」を選んだのか	演者のプロフィール  スマートフォン等から開く 場合は2次元コードをタップ！
演 者	洞口 貴弘(リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授)	
目 的	動物、ヒトにおける取捨選択・意思決定の主要な要素を知りましょう。	
概 要	ヒトは1日に数万回もの取捨選択・意思決定を行なっていると考えられています。その中には些細なものから重要なものまで含まれていますが、どのようにしてそれらの決定はなされるのでしょうか。脳の働きを基に概説します。	

講演4A 【作業療法学科】

講 座	人と会っているのに、なぜ孤独を感じるのか？ ～自分らしい人とのつながり方と心の健康～		演者のプロフィール
演 者	松寄 由莉(リハビリテーション学部 作業療法学科 講師)		 スマートフォン等から開く 場合は2次元コードをタップ！
目 的	孤立と孤独の違いを学び、健康との関わりや、自分にとって意味のある作業について考えます。		
概 要	孤独というと、一人でいることを思い浮かべるかもしれませんが、しかし、人と関わっていても孤独を感じることがあります。 本講座では、孤立と孤独の違いをわかりやすく整理したうえで、それらが健康にどのように関わるのかを紹介します。そのうえで、他者との時間だけでなく、一人で過ごす時間も含めた、自分にとって意味のある作業や、自分らしいつながり方について一緒に考えてみましょう。		

講演1B 【放射線学科】

講 座	乳がん検診のすすめ	演者のプロフィール
演 者	櫻井 典子(医療技術学部 放射線学科 講師)	
目 的	乳がんとその検査方法について理解を深め、検診受診のきっかけになることを目的としています。	
概 要	乳がんは、日本人女性に最も多いがんの一つですが、早期に発見すれば治る可能性が高い病気です。しかし、「恥ずかしい」「痛そう」といった不安から、マンモグラフィ検診を受けずにいる方も多いのではないのでしょうか。本講座では、マンモグラフィで乳房を圧迫する理由や検査の仕組みについて、診療放射線技師の視点からわかりやすく解説します。検診への不安を少しでも軽くし、「受けてみよう」と思っていたいただける機会になれば幸いです。この機会に、一歩踏み出して乳がん検診を受けてみませんか。	



スマートフォン等から開く
場合は2次元コードをタップ！

講演2B 【看護学科】

講 座	ケアの安全とは	演者のプロフィール  スマートフォン等から開く場合は2次元コードをタップ！
演 者	堀込 由紀(看護学部 看護学科 准教授)	
目 的	医療・福祉のケアの安全の概要と安全管理について、ご説明します。	
概 要	医療や福祉の現場において「安全」は何よりも優先されるべき土台です。しかし、人と人が向き合うケアの現場では、どれほど気を付けていても「ヒヤリ・ハット」や事故を完全にゼロにすることは容易ではありません。ケアの安全にかかわる現状を整理し、組織全体で支え合う「安全管理」の考え方についてわかりやすく解説します。	

講演3B 【臨床工学科】

講 座	多様化する末梢動脈疾患管理・治療法の最前線 ～足を守って人生を守る～		演者のプロフィール
演 者	齋藤 慎 (医療技術学部 臨床工学科 准教授)		 スマートフォン等から開く 場合は2次元コードをタップ！
目 的	下肢閉塞性動脈疾患 (LEAD) に対し、下肢血流評価の再考と新規治療の有用性を検討する。特に、レーザ血流計 (LDF) による早期発見とフィラビー療法の効果に着目し、透析患者の足病変予防への応用可能性を明らかにします。		
概 要	LEADは無症候性で進行することが多く、従来のABIやSPPのみでは十分に評価できない微小循環障害の把握が課題です。本講座では、LDFを用いた下肢微小血流の評価手法を検討し、その臨床的有用性を概説します。さらに、近年注目されるフィラビー療法について、血流改善作用や組織修復促進効果の観点から、下肢虚血および創傷治癒への影響を概説する。これらの知見を統合し、「足を守ることが生命予後を守る」という観点から、LEAD管理の実践的戦略と今後の展望を提示します。		

講演4B 【検査技術学科】

講 座	ノーベル賞で話題の制御性T細胞って何？		演者のプロフィール
演 者	高橋 克典(医療技術学部 検査技術学科 教授)		 スマートフォン等から開く 場合は2次元コードをタップ！
目 的	制御性T細胞について理解を深めましょう。		
概 要	ノーベル生理学・医学賞を受賞した坂口志文先生の研究テーマである制御性T細胞(Treg)について、「何がすごいのか?」、「この発見が将来何の役に立つのか」など知識のない方でもわかるように解説します。お子さんに尋ねられたけど、うまく答えられないお父さん、免疫の分野に興味のある高校生、あるいは学生から質問されて困っている学校の先生などに聞いていただきたい内容になっています。		